

令和2年
2月1日発行

つしま

議会だより No.40



第4回定例会 議決結果

会期:11月25日から12月23日まで

第4回定例会では、議案14件、認定2件、人事案件3件、議員提出議案2件を可決、同意しました。また、請願1件は不採択となりました。

このうち、第3回定例会で継続審査となった議案第47号・第48号、認定第1号・第2号は、閉会中に委員会審査が終わり、可決、認定されたものです。

各議員の賛否の結果は、以下のとおりです。

議案番号	議案	議決結果	新市民クラブ				改革クラブ			津島自由クラブ			共産党議員団		公明党つしま		無党派			
			日比野郁郎	西山良夫	加藤哲司	伊藤久夫	加藤則之	沖廣	垣見啓之	安井貴仁	服部哲也	浅井英昭	伊藤恵子	太田幸江	本田雅英	森口達也	宇藤久子	上野聡久	山田真功	長屋大和
47	津島市フルタイム会計年度任用職員の給与に関する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	—	×	×	×	×	○	
48	津島市パートタイム会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	—	×	×	×	×	○	
認定1	平成30年度津島市一般会計歳入歳出決算、津島市国民健康保険特別会計歳入歳出決算、津島市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算、津島市コミュニティ・プラント事業特別会計歳入歳出決算、津島市介護保険特別会計歳入歳出決算及び津島市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	—	○	○	○	○	○	
認定2	平成30年度津島市民病院事業会計決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	
75	津島市総合計画条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	
76	津島市職員の給与に関する条例等の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	
78	津島市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	
79	津島市道路管理及び道路占用に関する条例及び津島市公共物管理条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	
81	津島市公民館の設置及び管理に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	
82	令和元年度津島市一般会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	—	○	○	○	○	○	
83	令和元年度津島市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	
84	令和元年度津島市介護保険特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	

※ 議長は、採決に加わっていません。○:賛成 ×:反対

議案番号	議案	議決結果	新市民クラブ				改革クラブ			津島自由クラブ			共産党議員団		公明党つしま		無会派			
			日比野郁郎	西山良夫	加藤哲司	伊藤久夫	加藤則之	沖廣	垣見啓之	安井貴仁	服部哲也	浅井英昭	伊藤恵子	太田幸江	本田雅英	森口達也	宇藤久子	上野聡久	山田真功	長屋大和
85	令和元年度津島市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
86	指定管理者の指定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
87	津島市監査委員の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
88	市長等の給与の特例に関する条例の一部改正（注1）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
89	津島市下水道条例の一部改正（注2）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
90	津島市固定資産評価審査委員会委員の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問2	人権擁護委員の推せんにつき意見を求めること	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	【議員提出議案】津島市議会委員会条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	【議員提出議案】令和元年台風19号等からの復旧・復興に向けた対策を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願7	「後期高齢者医療費の自己負担を2割にしないこと」を国に求める請願	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	

※ 議長は、採決に加わっていません。○：賛成 ×：反対

- 注1 議案第88号は、当初、議案第77号として上程されましたが、形式上の不備を理由に、議案第77号は撤回されました。その後、誤りを修正して議案第88号として再提出されました。
- 注2 議案第89号は、当初、議案第80号として上程されましたが、条文の構成見直しを理由に、議案第80号は撤回されました。その後、誤りを修正して議案第89号として再提出されました。

特別委員会の設置

下水道事業の持続的運営を目指して調査を行う「下水道事業調査特別委員会」が設置されました。

一 正副委員長・委員 一

委員長：伊藤恵子 副委員長：森口達也
日比野郁郎 加藤則之 山田真功 安井貴仁 太田幸江

下水道事業調査特別委員会は、令和元年12月25日に1回目の委員会を開催し、下水道事業の経営状況について、流域関連公共下水道事業の決算状況および工事進捗を調査しました。今後も委員会を開催してまいります。

●●●● このような理由で、**賛成・反対** しました ●●●●

議案第 47 号 フルタイム会計年度任用職員の給与に関する条例の制定

議案第 48 号 パートタイム会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定

議案の概要 会計年度任用職員の給与・費用弁償に関する条例を新規制定するもの。

反対

日本共産党議員団 伊藤恵子

期末手当等の支給など、処遇改善も図られているが、非正規職員に対し法的根拠を与え、非正規雇用を合法化することにつながりかねない。公務の運営は任期の定めのない常勤職員を中心とする原則から逸脱するものである。

公明党つしま 森口達也

同一労働・同一賃金という視点から大変重要である。制度自体は否定しないが、今回の条例のようになんでも規則で規定できるようにすることは、議会軽視であり、地方公務員法の趣旨に反するものと考える。

賛成

新市民クラブ 伊藤久夫

本条例の主旨に瑕疵はなく、条例成立を待つ市民がいる。現在の臨時・非常勤職員、採用募集を待つ市民にとって喫緊の関心事であり、早期成立は、市民への行政サービスの質的・量的な維持に資する。

認定第 1 号 平成 30 年度一般会計・各特別会計歳入歳出決算の認定

反対

日本共産党議員団 伊藤恵子

地方創生事業「伝統の食と農でつなぐ地域にやさしいまちづくり」1,200万円の事業費のうち、前副市長が理事を務める一般財団法人に560万円支出された。事業内容等、何ら改善されないまま予算執行されたのは大問題。

賛成

改革クラブ 加藤則之

予算は、事業計画全般にわたり執行されており、特に前年度決算で指摘事項でもあった地方創生交付金事業など、まちに活力を与える事業は、県下でも有数の交付金活用の取り組みになっており評価できる。

公明党つしま 森口達也

将来の宝である子どもたちの健康を守るため、全小中学校へのエアコン設置のための実施設計委託料が支出されている。また、子育て支援策としての就学援助費、新入学学用品費の入学前支給がされている。

議案第 82 号 一般会計補正予算 (第 3 号)

反対

日本共産党議員団 伊藤恵子

人件費が約 5,202 万円減額補正されているが、当初より把握される事務事業に対し、適正な人事配置がされていない。生活保護、健康管理システムのマイナンバー活用のための改修費は、情報漏えい等が危惧される。

請願第 7 号 「後期高齢者医療費の自己負担を 2 割にしないこと」を国に求める請願

賛成

日本共産党議員団 太田幸江

国は、消費税 10%の引き上げ理由を社会保障充実のためとした。医療費の自己負担の 2 倍化は、高齢者にさらなる負担を押し付けるものであり、社会保障の充実と相反する。自己負担は 2 割にしないべき。

津島自由クラブ 安井貴仁 教育行政に関する件

Q 当市はいつから2学期制を導入したのか。

A 教育委員会事務局長
当市における2学期制は、平成19年度から実施している。

2学期制を実施するに当たり、2つの学期に分けて評価を行う2期制を、16年度から1年間は一部の学校で、17年度からは全小・中学校で試行した。この試行後、19年度から2学期制を実施している。

Q 2学期制を行うメリットは。

A 教育委員会事務局長
夏季休業前や冬季休業前の始業式、終業式の学校行事がなくなり、授業時間数が増える。児童・生徒にかかわる時間が増加し、繰り返し学習などにより子ども一人一人の基礎学力の定着を図るなどの学習指導を行うことができる。

Q 県内で2学期制を導入している自治体の状況は。

A 教育委員会事務局長
今年度2学期制を実施している教育委員会は、豊橋市、豊田市、高浜市、蒲郡市、みよし市、知立市、犬

山市、扶桑町である。

その他の質問
・教育長の所信について

改革クラブ 沖 廣 子育て支援策の件

Q 共存園保育所、新開保育園は、今後も直営でやっていくのか。

A 健康福祉部長
平成30年度に策定した公共施設等適正配置計画の中で、今後も維持し、計画的に長寿命化、更新を行っていくこととしている。

Q 新開保育園が認定こども園に移行した場合、建物はそのまま使用できるのか。

A 健康福祉部長
現状のままで使用できる。

Q ゼロ歳から2歳児までの子どもたちを保育するのに、1人当たりの保育スペースの基準は満たしているのか。

A 健康福祉部長
ゼロ・1歳児は、乳児室1人当たり1.65㎡、ほふく室1人当たり3.3㎡が基準となっている。2歳児以上は保育室1.98㎡が基準となっており、いずれも基準を満たしている。

Q 認定こども園での建物改修の計画はどのように進めるのか。

A 健康福祉部長
建物の状態や、入所予定人数にもよるが、建物設備については、計画的に毎年度予算計上し、必要な修繕を行っていく。

Q 来年、再来年、令和4年度からの認定こども園について、保育士採用はどのように行っていくのか。

A 市長公室長
定員適正化計画に基づき、計画的に採用する。令和4年度からの市立幼稚園が認定こども園に統合することも踏まえて、子育て支援課と調整しながら、必要な人員を確保する。



公明党つしま
森口達也

市民病院事業について

Q 9月に厚生労働省から再編統合が必要な病院のリストが公表され、津島市民病院が再検証の対象となったのはなぜか。

A 市民病院事務局長

公立・公的病院等を対象として、診療実績が特に少ない病院および類似の機能を持つ病院が近接している病院が抽出された。当院については、後者の類似の機能を持つ病院が近接している病院に該当するとされた。

Q 全国で幾つかに分けてのブロック別意見交換会が行われた。市にとって大変重要な場であったと思うが、なぜ市長は参加しなかったのか。

A 市長

ブロック別意見交換会の開催が決まる前から予定していた都合があり、参加することができなかった。

Q 県内の公立病院をはじめ、多くの病院等から、さまざまな質問や意見が国に対して投げかけられたと聞いている。当市はどのような質問や意見を述べたのか。

A 市民病院事務局長

当市からは意見を述べて

いない。

Q 意見交換会なのに発言しづらいということ、怠慢以外の何物でもないと思う。今後の市民病院の方向性を病床数、診療機能、職員数など具体的に示しながら説明願いたい。

A 市民病院事務局長

病床数については、現在の稼働病床数は389床であり、これに見合った運営を維持していく。なお、診療機能、職員数を含めた方向性については、病院内で検討および調整を図り、市側とも調整を行い、なるべく早い段階で決定していく。



宇藤久子

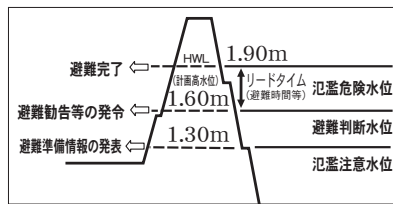
防災行政に関する件

Q 市民に対し、避難勧告等を発令する基準についてはどのようなになっているのか。

A 市長公室長

木曾川の本曾成戸観測所および日光川の古瀬観測所の水位を判断基準としている。避難準備・高齢者等避難開始は、氾濫注意水位で、木曾川では5.8m、日光川で1.3mである。避難勧告は、避難判断水位で、木曾川では8.7m、日光川では1.6m。避難指示（緊急）

は、氾濫危険水位で、木曾川では8.9m、日光川では1.9mである。災害発生は、堤防の破堤および越水が確認された時点で発令をする。



▲危険箇所設定断面

学校、高台寺小学校に通う小学生が利用しており、その後、独立して蛭間こどもの家、高台寺こどもの家が設立された経緯がある。

Q 現在、学校との距離が、かなり離れている。市はどのように考えているのか。

A 健康福祉部長

今後、こどもの家は、平成30年12月に策定した津島市公共施設等適正配置計画に基づき、各施設の更新時期と学校の余裕教室の発生状況に応じて、学校施設への集約化を検討していきたい。



▲神守こどもの家

放課後児童健全育成の件

Q なぜ神守こどもの家は、他のこどもの家に比べて、神守小学校から遠いところにあるのか。

A 健康福祉部長

設置当時は、神守中学校校区の蛭間小学校、神守小



改革クラブ
垣見啓之

雨水の排水対策について

Q 旧市街地といわれる津島駅を中心とした地域は、大雨のたびに道路が冠水する箇所が多くある。この原因は何か。

A 建設産業部長

この地域の排水は、一部合流式の下水道が整備され、下水道管を通じ下水終末処理場を経由し、日光川へ排水される。それ以外は、日光川西悪水土地改良区の排水区域であり、水路を伝い市民病院東側を流れる善太

川に自然流入し、蟹江町地内にある排水機場のポンプで日光川へ排水される。この排水機場へ流れるまでの善太川の一部が未改修のため、その流下能力不足が原因の一つである。

Q 県による善太川改修事業の進捗状況はどうか。

A 建設産業部長

市内の整備状況は、元寺町1丁目地内から埋田町2丁目地内の約1.5kmの区間で、県により下流側から拡幅整備が進められている。昨年度までで、県営愛宕住宅の北側付近の約600mが整備済みである。今年度はさらに、その上流の約50mの整備が行われている。ま

た、未改修である市民病院東側の約800mの区間で、昨年度から県による用地買収が進められている。

Q 県による善太川改修事業の一方、市としてはどのような浸水対策をしているか。

A 建設産業部長

市では県と共同で、県道の歩道の下に排水路の整備を進めている。また、公共下水道の合流区域では、浸水する箇所の雨水ますの点検、清掃を行っている。

その他の質問

- ・キャッシュレス決済の導入
- ・教育長への質問



津島自由クラブ
服部哲也

市の長期ビジョンの件

Q 第5次津島市総合計画とはどのようなものか。

A 市長公室長

総合計画は長期的なまちづくりの指針として、総合的かつ計画的な市政の運営を図るために策定するもので、市政における最上位の計画と位置づけるものである。

Q SDGsを総合計画の基本計画にどのようにひも付けていくことを検討しているのか。

A 市長公室長

SDGsの17のゴールと各施策との関係性や方向性を整理し、現在策定中の第5次総合計画において、SDGsを計画に位置づけていくことを検討している。

Q SDGsは、官民一体の共通目標として取り組み、地域の魅力となるのでは。

A 市長公室長

自治体と民間企業等がSDGsを介して同じ目標を共有することで、官民の新たな連携につながり、それが地域の課題解決の促進や、地域の魅力の発信につながっていくことが期待できる。

Q SDGsについて、市長の考えは。

A 市長

SDGsは国連サミットにおいて全会一致で採択された国際目標であり、全ての国が行動する普遍性を持ったものである。持続可能な社会の実現に向けて、経済、社会、環境の3つの側面から統合的に取り組むための共通目標であると認識している。

人が安心して暮らせる持続可能なまちづくりという観点からも、市政の方向性と合致するものであると考えている。

その他の質問

- ・通学路の安全対策の件



日本共産党議員団
太田幸江

公共施設の使用料見直し 方針案について

Q 市は公共施設をどのように考えているのか。

A 総務部長

住民の福祉、住民の幸せや豊かさを増進する目的を持って、利用に供するための施設であると考えている。

Q 意見交換会が3つの会場で開催された。そこで出された意見は、方針案に反映されるのか。

A 総務部長

市民説明会の意見やその他意見募集等での意見については、真摯に受けとめ、一つ一つしっかりと検討していく。

Q 使用料を上げると稼働率が下がり、かえって収益が減り、税金の負担が増えるのではないか。

A 総務部長

市としても使用料を上げることによって稼働率に大きな悪影響を及ぼすことは避けるべきであると考えている。

Q 高齢者や障がい者が使う施設の使用料までも一律の計算式に合わせて進めていくのか。

A 総務部長

今回、示した方針案では、一律の計算方法で算出している。市民からの意見を聞き、最終的にどのようにするのが最適か検討していく。

Q これまで無料であった「わざ・語り・伝承の館」の使用料はどうなるのか。

A 総務部長

午後の4時間を利用する場合で、機能訓練室が3,500円、会議室が2,700円、和室1が1,800円、伝承の間が7,800円などとなっている。なお、施設そのもののあり方を検討しているところなので、料金の設定をするかどうかを含め、検討していく。



日本共産党議員団
伊藤恵子

高齢者福祉に関する件

Q 介護保険条例には、保険料の減免条項があるが、災害時減免以外は、周知されず実績ゼロである。制度の拡充や制度の周知徹底が必要であるかどうか。

A 健康福祉部長

減免制度の対象要件については、他市の状況を踏まえ、国・県に確認しながら、再構築を研究していく。また職員それぞれが制度を把握し、相談者に伝えることができるようにしていく。

Q 介護認定者の障がい者控除については、申請書ではなく認定書そのものを送付してはどうか。

A 健康福祉部長

被保険者の負担軽減を図るため、令和元年度の発行分からは申請勧奨の通知ではなく、認定書の送付をすでに予定している。

Q 施設に入所されている方から、健康診査に1万円ほどの実費を払ったと聞いた。65歳以上は無料だが、同じ保険料を納めているのに施設入所者が実費を払うのは不公平ではないか。

施設入所者にも受診券を送るべきではないか。

A 健康福祉部長

県下の状況等を調査・研究していく。

Q 介護保険の総合事業「集いの場」について、国の方針がコロコロ変わり、現場が混乱している。市がきちんと方針を出すべきではないか。

A 健康福祉部長

国の動向を注視しつつ、市として方向性の再構築を図っていく。



その他の質問

・環境施策に関する件



上野聡久

市民病院について

Q 厚労省は、9月26日、全国1,455の公立病院、公的病院のうち、診療実績が乏しく再編統合の議論が必要と判断した424病院を初めて公表した。その中に津島市民病院も入っている。市長は病院の設置者として率直にどのような考えか。

A 市長

厚労省が示す地域医療構想の推進の必要性に関しては理解を示す立場にある。しかし、厚労省の発表の仕

方や根拠となるデータの取り方については大変疑問が残ると考え、また大きな憤りを感じる。

Q 記者発表はしたのか。

A 市長

していない。ホームページに意見を出した。

Q ホームページだけでは弱いのではないか。徹底的に対抗しないといけない。今回の件について厚労省の本当の狙いはどこにあると考えるか。

A 市長

地域の中で必要とされる病床や機能を地域の中で議論してほしいということ

だと考える。

Q 狙いは医療費の削減ではないか。日本医師会の見解はどうか。

A 市民病院事務局長

病院のリスト公表の結果、大きな混乱が生じている地域もあり大変な危惧を抱いているとの見解である。



▲市民病院

その他の質問

- ・来年度の予算編成について
- ・人事行政について
- ・教育行政について



新市民クラブ
西山良夫

市の環境問題に関する件

Q 環境問題の捉え方を問う。

A 市長

今年度は、台風が数多く発生し、甚大な被害をもたらした。これらは地球温暖化と密接な関係があるとされている。環境問題は我々にとって身近なものであり、温暖化対策として、温室効果ガスの削減が求められる中、ゴミの減量化・資源化は温室効果ガス排出量削減に寄与する。

行政と市民が協働し、環

境に優しいまちの実現を目指していきたい。

Q 市では計画に基づくゴミ減量化・資源化の向上に、どう取り組んでいるか。

A 市民生活部長

津島市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画に基づき、市民啓発の実施や鹿伏兎最終処分場にリサイクルステーションを設置してゴミを資源として出しやすい環境整備に取り組んでいる。

Q 環境に対する教育と、取り組み方についての見解は。

A 教育長

資源循環型の社会づくりを目指し、持続可能な開発

の教育の必要性を伝え、教職員研修でも取り上げたい。家庭・地域と連携し、コミュニティスクールを活性化させ、協力関係を築きたい。

Q 天王川公園の環境整備について、藤棚改修の内容は。

A 建設産業部長

藤棚は、完成から36年が経過し、老朽化が進んでいる。国の社会資本整備総合交付金を活用し、総事業費約4億3,000万円を見込み、令和7年度までに改修を完了したい。

その他の質問

- ・防災施策に関する件



津島自由クラブ
浅井英昭

幼児教育・保育の無償化の件

Q 10月から始まった幼児教育・保育の無償化について、財源はどのようなになっているか。

A 健康福祉部長

令和元年度は、消費税率引上げに伴う地方の増収がわずかであることから、幼児教育・保育の無償化に係る地方負担については、「子ども・子育て支援臨時交付金」として全額国費にて対応予定である。また、2年度以降については消費

税増収分を活用し、必要な地方財源を確保するとともに地方交付税措置がされることとなっている。

Q 新聞の報道等によると、幼児教育・保育の無償化により保育料が便乗値上げされているケースがあるようだが、これはどういったものか。

A 健康福祉部長

10月からの幼児教育・保育の無償化の実施に伴い、保護者の負担が軽減されるタイミングに合わせて、施設から値上げの理由が示されない、あるいは示された理由に具体性がない値上げや無償化等の対象者のみへの値上げ、料金の見直しに

よる実質的な値上げがされるようなケースがあり、それらが便乗値上げといわれている。

Q 市には、保育園、認定こども園、幼稚園は合計で何園あるか。その中で、便乗値上げのケースはあるか。

A 健康福祉部長

現在、保育園が8園、認定こども園が4園、幼稚園が4園で合計16園あるが、幼児教育・保育の無償化に伴い、現在、便乗値上げをしたと思われるケースはない。



改革クラブ
加藤則之

歴史的風致維持向上計画の件

Q どのような計画なのか。

A 市長公室長

当市は神社仏閣や町家等、価値の高い歴史的建造物が現存し、祭礼行事や抹茶文化など歴史や伝統を反映した活動が営まれ、固有の風情、情緒、佇まいを形成している。これらを守り、育て、継承し、地域活性化に繋げていく計画である。

Q 守るべき歴史的風致は何であると捉えているのか。

A 市長公室長

「天王祭にみる歴史的風致」・「山車祭・石採祭にみる歴史的風致」・「茶の湯文化に見る歴史的風致」と「神守・神島田地区中心の、水の恵みによる歴史的風致」の4つである。

Q 整備や管理が必要な施設、継承すべき事業などはどのようにしていくのか。

A 市長公室長

計画には、歴史的建造物の保存活用や周辺環境の保全として、文化財の旧堀田家住宅や観光交流センターの保存活用、天王川公園の整備、祭の保存・振興、歴史・文化魅力発信事業等を記載している。

Q 国の支援や総事業費は。

A 市長公室長

重点区域は、補助率50%の支援策がある。総事業費は5か年で約4億7,000万円、国と協議中である。

Q 10年後のまちの姿をどのように思い描いているか。

A 市長

当市の魅力を発信することで、関係人口を増やし、定住人口に繋げる。各施策を磨き上げながら、子どもたちが夢を叶えられる、人が集う誰もが住んでみたい、魅力あるまちに向けてまい進していきたい。



長屋大和

子育て支援の件

Q 子どもの居場所づくり事業は、どのような経緯で始まった事業か。

A 健康福祉部長

長期休暇期間中に、学童クラブを利用していない留守家庭児童を対象に、安心・安全な場所を提供することを目的として始めた。

Q どのような人事配置をし、児童を見守っているのか。

A 健康福祉部長

1施設で4名から7名程度の指導員や、大学生などの補助員を配置している。

Q この事業の課題等は何か。

A 健康福祉部長

今年の夏休みから実施箇所を2カ所増やしたため、指導員の人材確保には苦労している。さまざまな確保策について検討し、努めていく。

Q 各大学のボランティアセンターのような部署の活用が、少しでも人材確保につながると考えられるかどうか。

A 健康福祉部長

活用については、人材確保の一つとして、今後調査・研究したいと考えている。

Q 安心して子育てできる環境の整備に力を入れている市長の考えは。

A 市長

今後も保護者の皆さまが安心して働き続けることができるような取り組みを進めていきたいと考えている。引き続き、子育てをする方のニーズに応えるべく、子育て施策を推進していきたい。



新市民クラブ
伊藤久夫

市の防災・減災対策

Q 令和元年8月に県が発表した想定最大規模の日光川洪水浸水想定図によると、新開保育園、高台寺小学校の浸水想定はどうなっているか。

A 市長公室長

新開保育園付近の浸水深は1m～3m未満、0.5m以上継続日数は3日～1週間未満。高台寺小学校西側道路付近は1m～3m未満、0.5m以上継続日数は1週間～2週間未満である。

Q 避難所の体育館が浸水した場合、どこに避難するか。

A 市長公室長

校舎の2階以上に避難していただく。

Q 災害時の応急仮設住宅の建設候補地、計画戸数は。

A 建設産業部長

公共用地5地区で合計633戸である。

Q 現在の建設候補地や計画戸数に問題はないか。

A 建設産業部長

見直しが必要と考えている。市街化調整区域のまとまった農地を、避難空間等として活用する防災協力農

地なども含め検討したい。

Q 市では全く未着手だが、地区防災計画について、どのように考えているか。

A 市長公室長

地区防災計画の手引きの策定や周知等を行い、モデル地区を選定するなどして、計画策定を支援していく。

Q 市民が防災を学び、考えることのできる防災拠点があると、市民の自助、共助意識は飛躍的に展開する。市長の所見は。

A 市長

防災拠点づくりは、一度検討してみる価値はあると考えている。



山田真功

消防団員報酬と委任状の件

Q 各分団は個人口座に振り込まれた報酬から運営費を再徴収する手間が大変である。他市は団本部が困らない仕組みを考えて各分団に指示しているが。

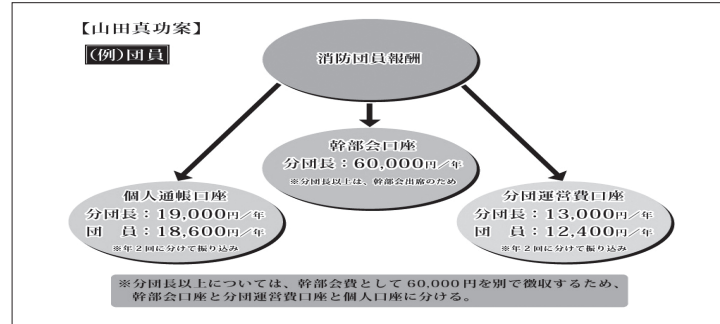
A 消防長 他市町村の状況を見ながら指導していく。

Q 報酬の振り込みは年に6回だが署員の事務量大変である。条例改正をして年2回に検討してはどうか。

A 消防長 近隣市町村に確認して検討していく。

Q 女性団員も本人確認をして委任状に記入しているか。

A 消防長 女性部は数名、確認がとれていない。



Q 委任状は第三者が記入して押印しても通じるのか。

A 消防長 記名はパソコン印字もゴム印、代筆も大丈夫ということを確認している。

Q 訴えられたら文書偽造罪に問われるのでは。

A 市長 本人に確認しているものだと思っていたが、改めていくことが必要である。

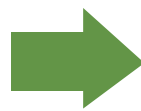
常任委員会の構成、委員の任期を変更します

第4回定例会で、議員提出議案第8号 津島市議会委員会条例の一部改正が可決されたことにより、現在3つある常任委員会が、令和2年5月から2つに変更されます。また、次回の選挙後から、常任委員会、議会運営委員会の委員の任期が1年から2年になります。

常任委員会を2つにすることで、各委員会の委員の定数が6人から9人になります。

現在

総務委員会
厚生病院委員会
文教建設委員会



令和2年5月から

総務建設委員会
厚生文教委員会

新しい委員会では、以下のように所管を分け、議案等の審査を行います。

総務建設委員会

市長公室、総務部、市民生活部、建設産業部、上下水道部、会計課、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会、固定資産評価審査委員会、農業委員会、他の常任委員会の所管に属さない事項

厚生文教委員会

健康福祉部、市民病院、看護専門学校、消防本部、教育委員会

●●● 議案等について、3つの委員会に分かれて**審査**しました ●●●

厚生病院 委員会

議案第 82 号 一般会計補正予算 (第 3 号)

Q 自立支援給付事業及び障がい児通所給付事業が年々増加している要因は何か。

A 相談支援員が対象者にあつた計画を立てることにより、サービスを受けやすくなったことと、事業所の体制が整ってきているため。

Q 遺児手当扶助費約 103 万円の増額の理由は。

A 当初予算では年間延べ約 5,300 人と見込んでいたが、見直しをしたところ約 5,900 人と増加したため。

Q 子育て支援課所管の人件費について、時間外手当の当初予算を前年度の 382 万円から 415 万円にして、30 万円ほどの増額。この予算で幼保無償化の事務に対応できると考えたのか。

A 予算段階で事務量に見合う予算化をすべきであった。

Q 健康管理システム改修委託料約 101 万円の増額は、マイナンバー制度による情報連携事業で、健康かるてに機能を追加するとの説明であるが、内容は。

A 転入や転出した人の健康診査等の情報を、市町村間で連携し、円滑に行うもの。

文教建設 委員会

議案第 79 号 道路管理及び道路占用 に関する条例及び公共 物管理条例の一部改正

議案の概要 愛知県道路占用料条例の一部改正に伴い、道路占用料及び公共物占用料の額を改定するもの。

Q 評価替えや地価水準の変動により、占用料は上がったり下がったりすることがあるのか。

A 上がることもあれば下がることもある。今回の改正は増額である。

Q 大幅に値上げとなっている部分があるが、激変緩和措置はあるのか。

A 各年度で占用料を 1.2 倍までに抑える激変緩和措置を設けている。

Q 今回の条例改正による増収効果をどれだけ見込んでいるか。

A 新占用料となった場合の効果額は、道路で約 750 万円、水路で約 100 万円、堤塘で約 20 万円の効果額が出る。段階的に経過措置を設けているので、令和 2 年度は、道路で約 560 万円、水路で約 80 万円、堤塘で約 15 万円の占用料の増加が見込まれる。

総務 委員会

議案第 75 号 津島市総合計画条例の 制定

議案の概要 総合的なまちづくりを計画的に進めるために条例を新規制定するもの。

Q 県内 54 市町村の状況は。

A 県内 49 市町村で総合計画策定条例、または自治基本条例等において規定されている。

議案第 82 号 一般会計補正予算 (第 3 号)

Q 人事秘書課所管の給料 690 万円減額の詳細は。

A 副市長不在に伴う減額分として約 609 万円、その他職員の異動に伴う減額分として約 81 万円である。

総務委員会

－閉会中の継続審査－

議案第 47 号
フルタイム会計年度任用職員の給与に関する条例の制定

議案第 48 号
パートタイム会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定

議案の概要 フルタイム会計年度任用職員の給与に関する条例及びパートタイム会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例を新規制定するもの。

Q 定年や再度の任用はあるのか。

A 定年は設けていないが、1会計年度のため再度の任用はある。

Q 任用期間が5年以上になった場合、民間では正社員への転換が必要になるが、どうか。

A 労働契約法に5年を経過した場合は、正社員への転換という条文があるが、地方公務員については適用除外という規定があるため、任用期間が通算5年を超えたとしても正規職員へ転換される仕組みはない。

予算・決算特別委員会

－閉会中の継続審査－

認定第 1 号
平成 30 年度一般会計・各特別会計歳入歳出決算の認定

Q 緊急通報システム事業は、一般会計ではなく、介護保険特別会計で行うべきと考えるが。

A 現在、業者等と調整し進めている。今までの課題の一部が解消される話もあるため、介護保険特別会計の当初予算に計上できれば計上していく。

Q 尾張津島天王祭業務委託料として、約 2,444 万円が支出され、当初予算から約 377 万円を減額補正されているが、この内訳および理由は。

A 台風の影響で宵祭りが中止になったことによるものである。天王川公園西側堤防に設置予定であったバルーンアートが必要なくなり約 70 万円、警備業務の一部キャンセルで約 85 万円、公園内のごみ処理作業のキャンセルで約 130 万円の減額、そのほか傷害保険料や駐車場の整備が不必要となったことなどが主な理由である。

認定第 2 号
平成 30 年度市民病院事業会計決算の認定

Q 前年と比較して患者数は減少しているにも関わらず、薬品費が増加している理由は。

A 患者全体としては減った状況であるが、外来での化学療法を受ける患者が増えてきたためである。

Q 時間外勤務の、前年度比較の増減について詳細な説明を。

A 前年度対比で約 1,300 万円減少した。看護職については、夜勤体制を 3 名ないし 4 名と増強したため、引き継ぎがうまくいっており、事務職では、部署全体でカバーすることや事務の簡素化などの合理化が図られたためである。

Q 平成 30 年度の決算、病院の事務局の状況、今の病棟再編、現在直面している重要な局面を踏まえて、設置者としての市長の病院経営に対する考えは。

A 大変厳しい状況が続いていると認識している。それと同時に、各ドクターをはじめ、事務方も一生懸命頑張っている。この地域になくてはならない病院であるというようなことをアピールしながら、全力で指揮をとっていく。

議会報告会 —開催結果のご報告—

昨年10月26日に市内4会場で「議会報告会」を開催しました。

当日は、86名の方にご参加いただき、「小中学校のエアコン設置及びトイレの洋式化について」の報告後、初めての試みとなります「多世代交流のまちづくり」をテーマとした意見交換会を実施しました。

意見交換テーマ「多世代交流のまちづくり」に対する主な意見を掲載します。

津島市は、神社・まつりを中心として広がった歴史ある街である。以前は、町内運動会など地域の繋がりがあったが、現在は、その力が弱くなっている。

(会場 大崎会館)

地域コミュニティの一番のテーマは、「子どもを地域で育てる。」ということではないか。子どもを産み育てやすい街づくりが大切。市の施策として子育て支援をもっと充実してほしい。

(会場 大崎会館)

子どもたちと交流する機会を増やしていく。家族間の絆が重要である。

(会場 生涯学習センター)

子どもにとって生活しやすい環境は、高齢者にも住みよい環境。子育てしやすい環境づくりに力を入れてほしい。

(会場 文化会館)

老人には老人の役割があり、青年には青年の役割があり、小学生には小学生の役割があ

る。住みやすいまち・社会は、それぞれが役割を持ち、そして、それぞれに「がまんせよ」と言えることが大事になってくる。(会場 神島田公民館)

核家族・少子化問題等、なかなか難しい。これらを一つ一つこまめに、イベント等も含め、魅力ある場を作ることが大事。(会場 神島田公民館)



多くのご意見ありがとうございました。

当日、皆さまからいただきました要望・意見の中から、以下の2点について議長から市長へ報告し、12月9日付で市長から回答がありました。

要望・意見

学校教育に力を入れて、魅力ある津島市を作って欲しい。(会場 生涯学習センター)

回答

学校環境整備としまして、本年度、全小中学校の普通教室にエアコンを設置しました。また、来年度以降、小中学校のトイレの洋式化に取り組みます。

そして、ICT教育を推進するため、タブレット端末を

導入し、プログラミング教育や英語教育に力を入れるとともに、防災教育や地域支援本部活動にも取り組みます。

要望・意見

名鉄の利便性向上(名鉄津島駅高架下を車で往来可能にする)を働きかけしてほしい。(会場 文化会館)

回答

車両の通り抜けにつきましては、これまでも名古屋鉄道との協議を実施しておりますが、鉄道高架の改良工事が必要となり実現は厳しいと考えます。

しかしながら、駅の東西を相互連絡することにより、さらなる利便性の向上が期待で

きることから、歩行者等の往来の増加は必要と考えており、今後は駅の東西エリアで計画する駅前広場において、一体感のある整備となるよう計画します。

議会報告会は、議会基本条例を制定しました平成23年度より年1回開催させていただき、令和元年10月の開催で9回目となりました。

議会の活動をお知らせすると同時に、さまざまなご意見を直接お聞きすることができる貴重な機会でありますので、今後できるだけ多くの方にご参加いただけますよう、努力していきます。

令和2年第1回臨時会を開催

令和2年1月7日、9日に、令和2年第1回臨時会が開催され、「津島市フルタイム会計年度任用職員の給与に関する条例及び津島市パートタイム会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について」を可決しました。詳細については、次号に掲載いたします。

ご協力ありがとうございました

—街頭募金活動を実施—

津島市議会では、昨年台風第19号などで被害を受けられた方々を支援するため、街頭募金活動を実施しました。

皆さまからお預かりした募金と、津島市議会からの義援金を合わせ、総額272,000円となりましたことをご報告します。

お寄せいただいた募金と義援金は、全国市議会議長会を通じて、被災地域の支援に使われます。皆さまの温かいご支援ご協力に心から感謝申し上げます。

駅伝競走大会の応援に行きました

12月7日に開催された第14回愛知県市町村対抗駅伝競走大会に、津島市代表選手として出場された皆さんの応援に行きました。寒空の下、一致団結した素晴らしい走りでした。



津島市代表選手の皆さんと

令和2年 第1回定例会 開催予定

2月

日 23	月 24	火 25 本会議★	水 26	木 27	金 28	土 29
---------	---------	-----------------	---------	---------	---------	---------

3月

1	2	3	4 5 6 一般質問★			7
8	9 厚生病院 委員会	10 文教建設 委員会	11 総務 委員会	12 厚生病院 委員会	13 文教建設 委員会	14
15	16 総務 委員会	17 委員会 予備日	18 委員会 予備日	19	20	21
22	23 予算・決算 特別委員会	24	25 本会議★	26	27	28

★印は、クローバーテレビの生中継および夜7時からの再放送を予定しています。

・会議は午前9時から開催します。

・日程は変更になる場合があります。

・詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。

☎ 55-9858

編集

後記

—編集委員会—

委員長 森口達也 副委員長 伊藤久夫
太田幸江 垣見啓之 浅井英昭 長屋大和

今号も議会だよりを手にとっていただきありがとうございます。

議会だより編集委員会では、市民の皆さまに議会での質疑応答等、分かりやすく伝えたいと思っておりますので、ご意見・ご要望等をお聞かせください。

今後とも、市民の皆さまが住んでよかったと感じていただけるようなまちづくりを目指し、行政とともに市民生活向上のためにまい進してまいります。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

議会だよりは、5月・8月・11月・2月に発行しています。